

For the best smile

TOWA 東和建設 スマイルかわら版

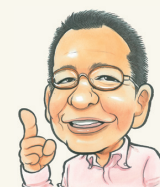
VOL. 24 47th

地域密着で貸倉庫・工場をお届けして47周年

いつもお客様のそばに寄り添いたい。これからもずっと。

私ども東和建設株式会社は、1978年の会社設立当初から、一貫して貸倉庫・貸工場を中心としたリース物件の建設を手掛けてまいりました。その間に培ってきたノウハウを基盤として、当社をご利用頂く全てのお客様に、『どうしたら心から喜んで頂けるか』ということを中心に、日々の業務に取り組んでまいりました。

現代社会の複雑な仕組みの中で、『貸し手と借り手』のメリットが見事に生かされているのがリース建設の世界だと考えられます。私ども東和建設株式会社は、この『貸し手と借り手』の円滑なパイプ役としてその存在を認められていくべき会社だと考えています。その理念に則して、さらに営業努力を重ね、効率的な土地活用の促進と、リース物件をご利用頂く皆様の事業発展の一助となれますよう、努力を重ねていく所存でございます。



東和建設株式会社 代表取締役 石谷隆平

リフォームニュース



星野

この度、お客様より新規入居に伴い、事務所兼工場の改修工事をおこないました。

内容と致しましては、一階・二階の内装工事・外壁塗装・屋上防水工事・キュービクルの設置・トイレ取替え工事・シャワールームの設置・床塗装を行いました。

一階は工場での使用ということで、クレーンを設置し、置型エアコンを設置。床は防塵塗装を行いました。

二階の内装工事に関しては、壁はクロスの張替えと天井塗装、床はクッションフロアとカーペットタイルを施工しました。

階段のクロスと床の柄は合うだろうか、事務室のブラインドは何色にしたらいいだろうかなど、お客様のご相談をうけ何度か打合せを行い、無事に完工に至りました。お客様がより良い環境で過ごせますよう、誠心誠意取り組ませて頂きました。

お客様のご希望に寄り添える形となり、大変喜ばれました。



東和建設株式会社では、新築工事に加え、内装・リフォーム・防水工事も行っています。倉庫内に事務所を設置したい、ご自宅のリフォームがしたい等、お困りごとが御座いましたら、是非、御申しつけ下さいませ。



- ・Y様自社ビル
- ・名古屋市西区
- ・鉄骨造3階建て
- ・電動シャッター

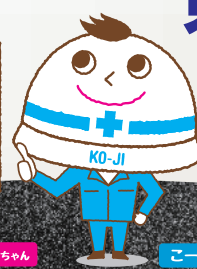
空き物件が
不足してます！

貸倉庫・工場・テナント
入居率99%超 2025年
4月現在

TOWA
CORPORATION
SINCE 1978

東和建設

事業用地大募集！



春といえば



吉田

暖かくなり、朝も起きやすい季節になって、いよいよ春が来たという感じがします。

春は桜を始め、道を歩くとたくさんの色とりどりの花が咲いていて、目に楽しい季節ですね。しかし、春といえば花粉を連想する方も多いのではないのでしょうか。花粉症の人にとっては、物事や仕事に集中するのも難しい時がありますね。

防災食を食べてみた



牧山

私の子供が小学校から頂いてきた非常時給食用のカレー、その名も「救給カレー」。

温めなくても食べることができ、低アレルギー食材でできたカレーです。袋の中にはルーとご飯が入っていて、このまま食べられます。何事もチャレンジと思い、何の気なしに食べてみることにしました。

さすがに常温ではねと自分で甘えながら湯せんで温めること5分、器に移さず袋のままスプーンで食す。

味の感想はといえば：普通に食べられますが、とにかく薄い。ターメリックのような香りが強く独特な味わいでした。

花粉症の辛さは、経験した人にしかわからないものです。

色々と花粉症に効果的なものを試しながら少しでも症状が軽減して仕事や普段の生活が改善されると良いですね。少し前までは、寒くて布団から出るのも億劫でしたが、些細な季節の変化を感じることで、1日1日を積み重ねている事を実感します。

春は、スタートの季節です。あたたかさや明るい陽射しに背中を押されるように、なにか新しいことを始めるには、もってこいの季節ですね。



少ない調味料の中で何とかカレーの味に近づけるといった、美味しいと表現するのは難しいところでした。

この記事を書いているのは3/11東日本大震災が発生した日。食べてみて思ったことが、普段の私達の食べている物が、いかに味が濃く、飽食と言われる時代、いかに食べ物に溢れているかと言った点に驚かされました。災害などの非常時に食べる物にも困る中で、食べ物があふれていることなどということがあります。

防災食という物が食べることがないことを願っているが、日々食べられていることに感謝をして過ぎていきたくないなど改めて思いました。



隆平の徒然歩記⁽²⁴⁾

つれづれあるき
TUREZUREARUKI
隣 町 TONARIMACHI 次 駅 TSUGINOKEI

暦と時計

暦があるから 暦を定めて 暦をながめちゃ四月だというよ。 暦がなくても 暦を知って リコウな花は四月にさくよ。 時計があるから 時間をわすれて 時計をながめちゃ 四時だというよ。 時計はなくても 時間を知って リコウな鶏は 四時には啼くよ。

写真と文・石谷



今回は『金子みすゞ』の詩を掲載させて頂いた。山口県長門市仙崎出身、約500編の詩を残して、僅か26歳で夭折した女流童謡詩人。その研ぎ澄まされた独特の世界観の中で、珠玉の作品を多く残している。



レトロな酒器

私は旅が大好きだが、同じ場所を選んで出かけることもよくある。場所が同じであっても、季節によってその趣は大

きく違う。全く違うと言っても過言ではない。

里山などに息づく花々の色や樹々の変化が大きく作用しているのだから。それぞれの季節の息吹を肌で感じながら歩くことが無性に楽しい。

そんな時、『金子みすゞ』のこの詩が頭に浮かんだ。人間の愚かさを揶揄したかのような詩だが、決してそうではない。身体全体で季節と時間を感知することの楽しさ。人間が忘れがちな大切なことは何かを優しく示唆してくれているのだらう。

我々の心を豊かにしてくれる素晴らしい詩だと思う。



私の旅グッズ

『ひとり旅』を趣味とするようになってから、随分と年月を重ねてきた。

特に『列車旅』に特化してから、その興味には更に拍車がかかっている。『鉄路』という言葉の響きも奥行きがあつて心地よい。

『鉄路』は日本全国、毛細血管の如く張り巡らされている。

かなり以前から使ってきた『日本全国鉄道路線図』を開いて、踏破した路線を塗り潰していくのも楽しい作業だし、「今

度は何処へ行こうか？」などと、知らない土地に思いを巡らすことも、際々楽しい時間である。

今更言うことではないかも知れないが、日本は素晴らしい国である。『春夏秋冬』何処に出かけてもその景色や風情に於いて飽きるということがない。

行く先々の地において、その土地が育んできた風物に触れる楽しみ。山、川、海が生み出している産物を使ったその土地独特の料理の数々。またそれらの食味を、一層際立たせる地酒。これらの複合的な要素の相乗効果があつて、『旅する者』に喜びを与えてくれているような気がしている。



艶やかなハナモモ

若い頃から地図を見るのは大好きなのだが、最注目なのが、日本列島の形は世界の国々の中にあつて、際麗な感じがする。

北海道、本州、四国、九州、それぞれの形も美しい。細長い国土が北海道を上、九州を下にして、少し斜めに置かれている。ごく自然な形で静かに横たわっている。

そのせいで「緯度」の変化が大きく、気候のずれが顕著であり、『桜前線』『紅葉前線』などの雅な言葉も生まれている。

ここに日本独特の風土の根っこがあるような気がする。



眼下の溪谷

いつか、この世に用事が無くなつた時には、日本列島を名古屋で二つに割って、まず日本海側を北海道の果てまで行って、太平洋側を戻って来る旅。

太平洋側を九州の果てまで行って日本海側を戻って来る旅。

この二つだけはどうしてもやってみたい。生きている間に実現できるかどうか分からないが、そんな願望を持ち続けることに大いに意義があるように思っている。

その後はランダムに内陸を主体にしたスポット旅に出かけたい。例えば『松本清張』の推理小説の舞台になった場所など。

代表作の『点と線』『砂の器』『ゼロの焦点』などの中に出てくるような鄙びた地域。

『砂の器』に登場する山陰地方の『亀嵩』には過去に一度挑戦したことがあったが、列車の便数

があまりにも少なく、行くには行けてもその日のうちに帰れないので、直ぐ近くにいながら断念した経験がある。

旅館なども全く見当たらない辺境の地であるようだ。



列車が来た

『松本清張』の小説は若い頃から読み続けてきた。

ひよつとしたら、その大部分を読破したかも知れない。

彼の作品はその多くが映像化されてきたが、映画もテレビドラマも漁るようになってそのほとんどは見えてしまった。

どの作品も、日本独特の気候風土を背景として物語が展開されていく。それらのストーリーを反芻しながら、旅して歩いたらどんなに楽しいだろう。

そんなことを思っている。

優美な日本の国土、奇しくもそんな日本に生まれ落ちたことへの喜び。

素直に感謝している自分がかこにいます。

行きたいところへ、いつでもどこまでも、歩けるように、最近日々足腰を鍛えている。

終わり。

東和建設の公式サイト

HPリニューアル!

右のQRから簡単アクセス!

<https://www.towa-3ca.com>



編集後記

毎年この時期、あたたかくなってくると幸せを感じ、桜を見るとさらに幸せな気持ちになります。調べてみると、実際に桜の花粉には幸福感をもたらす作用があるみたいです。また、桜といえばピンク色ですが、ピンク色には愛情・思いやりをもたらす効果や、緊張を和らげ優しい気持ちを引き出す効果などもあるようです。

毎年、何の気なしにお花見をしていましたが、この春はいつもよりじっくり桜を眺めてみようと思います。

編集員・大倉

発行・編集:東和建設株式会社 〒452-0814 名古屋市西区南川町72 TEL052-501-0261 / FAX052-501-9593